



2025年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日

上場会社名 山崎製パン株式会社

上場取引所 東

コード番号 2212 URL <https://www.yamazakipan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯島 延浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 会田 正久

TEL 03-3864-3110

半期報告書提出予定日 2025年8月8日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年1月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	650,633	5.3	34,690	11.8	35,448	4.2	22,983	6.6
2024年12月期中間期	617,747	9.5	31,029	50.6	34,028	49.5	21,569	53.5

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 22,654百万円 (△10.6%) 2024年12月期中間期 25,351百万円 (35.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	116.11	—
2024年12月期中間期	105.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	864,331	469,807	48.8
2024年12月期	865,105	460,486	47.6

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 421,539百万円 2024年12月期 412,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	45.00	45.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,293,000	3.9	57,500	10.8	59,500	5.7	38,000	5.5	192.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 - ② 期末自己株式数
 - ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年12月期中間期	220,282,860 株	2024年12月期	220,282,860 株
2025年12月期中間期	22,727,964 株	2024年12月期	21,401,522 株
2025年12月期中間期	197,933,886 株	2024年12月期中間期	203,545,286 株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、第2四半期(中間期)決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、2025年8月6日(水)に機関投資家及び証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2)財政状態に関する説明	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1)中間連結貸借対照表	5
(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3)中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4)中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年1月1日～2025年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く、インバウンド需要が増加するなど景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の関税政策による不透明感がみられました。

当業界におきましては、物価上昇が続くお客様の節約志向や低価格志向が強まる中で販売競争が一段と激化するとともに、鳥インフルエンザの影響により液卵が高騰したことに加え、油脂、包材など原材料価格や人件費、物流費等の上昇もあり、厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、人流の増加やインバウンドの増加により売上回復が続きましたものの、人件費等のコスト上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にありまして、当社グループは、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新しい価値の創造に取り組んでまいりました。昨年、新規技術を導入し大幅な品質改善を実現した「ダブルソフト」の技術を最大限活用し、本年1月から主力食パンの「ロイヤルブレッド」に導入して業績向上への推進力とするとともに、この技術を菓子パンや和菓子、洋菓子にも活用し、品質訴求による取扱拡大をはかりました。また、2極化・3極化戦略によって低価格製品を充実する一方で、女性製品開発担当者の感性を活かした高付加価値製品の開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品開発を推進して業績向上をはかり、本年1月1日出荷分から実施した、一部の食パン、菓子パン、和洋菓子製品の価格改定に際しましても、規格の充実や下支え製品の強化など丁寧に対応したこともあり、業績は好調に推移しました。

また、当社は引き続き、労働安全衛生管理体制の整備・充実強化を推進し、労働安全衛生推進基本会議を毎月開催して経営陣、本社各部・各工場が一体となって労働安全衛生に関する問題課題の解決に取り組みました。また、安全日誌を活用して従業員によるチョコ停・トラブル、ヒヤリハットの情報を日次・週次・月次で管理し改善を進めるボトムアップによる労働安全衛生管理とともに、本社各部及び各工場における機械設備のリスクアセスメントによるリスクの排除と低減、並びに管理・監督職による日々の安全パトロールや安全教育を実施するトップダウンによる労働安全衛生管理を2本立てで行う、2本立ての労働安全衛生管理体制の整備・充実強化をはかり、働く職場の安全安心の実現に取り組みました。

デイリーヤマザキやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトを通じて日次管理・週次管理・時間管理の経営手法により日々の仕事の精度向上につとめるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携し女性製品開発担当者の感性とヤマザキの技術を最大限活用した競争力のある商品開発を推進し、お客様に喜ばれる商品づくりに取り組みました。

当中間連結会計期間の業績につきましては、パン類を中心に新規技術を積極的に活用し品質向上をはかったことに加え、価格改定の寄与もあり、山崎製パン(株)単体の業績が好調に推移するとともに、連結子会社の業績も好調に推移し、売上高は6,506億33百万円（対前年同期比105.3%）、営業利益は346億90百万円（対前年同期比111.8%）、経常利益は354億48百万円（対前年同期比104.2%）、親会社株主に帰属する中間純利益は229億83百万円（対前年同期比106.6%）となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門（売上高623億45百万円、対前年同期比104.2%）

食パンは、前期に続き主力食パンに加え低価格食パン等にも新規技術を順次導入して品質を向上させたこともあり、主力の「ロイヤルブレッド」が伸長するとともに、オリジナル対応を含む低価格食パンやサンドイッチ用食パンが伸長し、前年同期の売上を上回りました。

②菓子パン部門（売上高 2,436 億 6 百万円、対前年同期比 103.9%）

菓子パンは、「まるごとソーセージ」や「アップルパイ」などの主力菓子パンが伸長するとともに、ヤマザキ菓子パンや「ずっしり」シリーズ、「ドーナツステーション」などの低価格製品が伸長しました。さらに、(株)YKベーキングカンパニーグループの売上が好調に推移したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

③和菓子部門（売上高 392 億 17 百万円、対前年同期比 106.3%）

和菓子は、主力の串団子が好調に推移するとともに、新規技術を活用し品質を向上させた饅頭、中華まん、ホットケーキ、「やまざき蒸しパン」シリーズなどが伸長し、前年同期の売上を上回りました。

④洋菓子部門（売上高 816 億 39 百万円、対前年同期比 104.8%）

洋菓子は、新規技術を活用し品質を向上させた「イチゴスペシャル」などのスナックケーキや「5つに切ったロールケーキ」、「ダブルロール」などのスイスロールが伸長するとともに、コンビニエンスストア向け製品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高 844 億 68 百万円、対前年同期比 109.8%）

調理パン・米飯類は、おにぎりが好調に推移するとともに、(株)サンデリカにおいて主要取引先であるコンビニエンスストアチェーンとの取引が増加したことに加え、量販店との取引拡大もあり、前年同期の売上を上回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 932 億 43 百万円、対前年同期比 105.3%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム」やヤマザキビスケット(株)の「チップスター」、(株)東ハトの「ハーベスト」等、各社の主力品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は6,045億20百万円（対前年同期比105.2%）、営業利益は330億69百万円（対前年同期比110.5%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始し、運営・商品が一体となって、お客様のニーズに対応したオリジナル商品の開発に取り組むとともに、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携した競争力のある商品開発や新規技術による冷凍生地を活用したデイリーホットの品質向上をはかりました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトにおける成功事例を活用し、デイリーホットを中心に収益の改善をはかるとともに、各工場と連携し売り場づくりや店舗改装によるヤマザキらしい店づくりに取り組むなど、デイリーヤマザキ1店1店の店舗収益の改善をはかりました。この結果、当中間期は、チェーン全店売上高が前年同期を上回るとともに、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となりました。

以上の結果、流通事業の売上高は 389 億 51 百万円（対前年同期比 107.9%）、営業損失は 2 億 43 百万円（前年同期は 5 億 53 百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は 71 億 60 百万円（対前年同期比 100.3%）、営業利益は 16 億 30 百万円（対前年同期比 116.5%）となりました。

(2)財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は 8,643 億 31 百万円で、前連結会計年度末に対して 7 億 73 百万円減少しました。流動資産は 3,384 億 70 百万円で、売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に対して 29 億 34 百万円減少しました。固定資産は 5,258 億 61 百万円で、退職給付に係る資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に対して 21 億 60 百万円増加しました。負債合計は 3,945 億 24 百万円で、未払費用や支払手形及び買掛金などの支払債務の減少などにより、前連結会計年度末に対して 100 億 94 百万円減少しました。純資産は 4,698 億 7 百万円で、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に対して 93 億 20 百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は 48.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益 346 億 23 百万円に加え、減価償却費 206 億 27 百万円などにより 620 億 18 百万円のプラスとなり、前年同期に対しては 152 億 25 百万円収入が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより 284 億 12 百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては 87 億 57 百万円支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、自己株式の取得、配当金の支払などにより 135 億 78 百万円のマイナスとなりましたが、前年同期に対しては新規借入もあり 97 億 11 百万円支出が減少しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は 1,658 億 97 百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては 199 億 58 百万円の増加となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、米国の関税政策による企業収益への影響が懸念され、景気の先行きは予断を許しません。当業界におきましては、物価上昇によりお客様の節約志向や低価格志向が根強く、また猛暑が続く中で、液卵や油脂、包材の高止まりなど原材料価格の上昇に加え、人件費や物流費などの上昇が予測され、厳しい経営環境になるものと思われます。

このような状況下にあります、当社グループは、引き続き「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新規技術を活用した品質向上をはかり、2極化・3極化戦略によって、変化するお客様のニーズに対応した製品開発を推進し、新しい価値の創造に取り組むとともに、2本立ての労働安全衛生管理体制の整備・充実強化をして働く職場の安全安心の実現にも取り組み、着実な業績向上をはかってまいります。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始し、運営・商品が一体となってオリジナル商品の充実強化を始めとした新しい価値の創造に取り組む、業績回復をめざしてまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期（中間期）連結累計期間の業績の状況と今後の収益環境等を踏まえ、2025年2月14日公表の2025年12月期通期の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

2025年12月期通期連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,275,000	55,000	58,500	37,000	186.04
今回修正予想（B）	1,293,000	57,500	59,500	38,000	192.15
増 減 額（B－A）	18,000	2,500	1,000	1,000	
増 減 率（％）	1.4	4.5	1.7	2.7	
（参考）前連結会計年度実績 （2024年12月期）	1,244,488	51,873	56,305	36,015	178.58

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	152,443	172,519
受取手形	139	12
売掛金	140,892	113,056
商品及び製品	14,762	16,320
仕掛品	992	1,541
原材料及び貯蔵品	16,893	18,136
その他	15,589	17,189
貸倒引当金	△309	△305
流動資産合計	341,404	338,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	441,936	446,045
減価償却累計額	△325,337	△329,943
建物及び構築物（純額）	116,599	116,101
機械装置及び運搬具	596,284	603,207
減価償却累計額	△502,751	△510,287
機械装置及び運搬具（純額）	93,532	92,919
工具、器具及び備品	45,445	45,958
減価償却累計額	△36,603	△37,262
工具、器具及び備品（純額）	8,841	8,696
土地	126,078	126,835
リース資産	23,402	23,994
減価償却累計額	△15,243	△16,040
リース資産（純額）	8,158	7,953
建設仮勘定	5,385	7,477
有形固定資産合計	358,597	359,985
無形固定資産		
のれん	7,168	6,569
その他	12,029	12,027
無形固定資産合計	19,197	18,597
投資その他の資産		
投資有価証券	76,726	76,607
長期貸付金	654	561
退職給付に係る資産	33,048	35,748
繰延税金資産	9,125	7,381
その他	28,283	28,842
貸倒引当金	△1,931	△1,861
投資その他の資産合計	145,906	147,279
固定資産合計	523,701	525,861
資産合計	865,105	864,331

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,424	90,214
短期借入金	60,302	58,405
リース債務	3,679	3,314
未払法人税等	11,674	12,342
未払費用	42,465	39,964
賞与引当金	6,014	5,986
店舗閉鎖損失引当金	49	49
資産除去債務	30	7
その他	54,313	46,313
流動負債合計	269,953	256,598
固定負債		
長期借入金	32,373	35,794
リース債務	4,693	4,821
役員退職慰労引当金	5,938	5,919
退職給付に係る負債	74,282	75,163
資産除去債務	4,824	4,893
その他	12,552	11,332
固定負債合計	134,664	137,925
負債合計	404,618	394,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,632	9,632
利益剰余金	374,629	388,662
自己株式	△51,852	△55,516
株主資本合計	343,422	353,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,534	34,853
繰延ヘッジ損益	2	△0
土地再評価差額金	99	88
為替換算調整勘定	5,425	6,408
退職給付に係る調整累計額	27,665	26,395
その他の包括利益累計額合計	68,727	67,746
非支配株主持分	48,336	48,267
純資産合計	460,486	469,807
負債純資産合計	865,105	864,331

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月30日)
売上高	617,747	650,633
売上原価	410,737	434,418
売上総利益	207,009	216,214
販売費及び一般管理費	175,979	181,523
営業利益	31,029	34,690
営業外収益		
受取利息	251	239
受取配当金	939	1,117
固定資産賃貸収入	502	479
持分法による投資利益	418	445
為替差益	1,158	—
雑収入	610	646
営業外収益合計	3,880	2,929
営業外費用		
支払利息	438	692
固定資産賃貸費用	139	137
為替差損	—	868
雑損失	303	473
営業外費用合計	881	2,172
経常利益	34,028	35,448
特別利益		
固定資産売却益	132	94
関係会社株式売却益	300	282
投資有価証券売却益	193	35
その他	44	121
特別利益合計	670	533
特別損失		
固定資産除売却損	619	768
減損損失	189	264
その他	128	326
特別損失合計	937	1,358
税金等調整前中間純利益	33,761	34,623
法人税等	11,073	10,410
中間純利益	22,687	24,213
非支配株主に帰属する中間純利益	1,118	1,230
親会社株主に帰属する中間純利益	21,569	22,983

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	22,687	24,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,708	△662
為替換算調整勘定	490	442
退職給付に係る調整額	△573	△1,320
持分法適用会社に対する持分相当額	37	△17
その他の包括利益合計	2,663	△1,558
中間包括利益	25,351	22,654
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	23,515	22,002
非支配株主に係る中間包括利益	1,836	652

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	33,761	34,623
減価償却費	19,889	20,627
減損損失	189	264
のれん償却額	829	826
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△47	△75
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△294	△30
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,894	△3,229
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	529	△18
受取利息及び受取配当金	△1,190	△1,356
持分法適用会社からの配当金の受取額	93	122
支払利息	438	692
為替差損益 (△は益)	△1,158	868
持分法による投資損益 (△は益)	△418	△445
固定資産除売却損益 (△は益)	486	673
投資有価証券売却損益 (△は益)	△193	△35
関係会社株式売却損益 (△は益)	△300	△282
売上債権の増減額 (△は増加)	11,245	28,358
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,183	△3,364
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,039	△1,268
未払費用の増減額 (△は減少)	△953	△2,495
未払消費税等の増減額 (△は減少)	469	△1,553
その他	△2,014	△2,145
小計	55,242	70,754
利息及び配当金の受取額	1,188	1,347
利息の支払額	△427	△682
法人税等の支払額	△9,211	△9,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,792	62,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	177	△212
有形固定資産の取得による支出	△21,011	△25,054
有形固定資産の売却による収入	105	253
無形固定資産の取得による支出	△1,199	△1,362
投資有価証券の取得による支出	△93	△68
投資有価証券の売却による収入	2,659	497
貸付金の回収による収入	61	66
その他	△354	△2,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,655	△28,412

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△648	△3,452
リース債務の返済による支出	△1,884	△1,833
長期借入れによる収入	1,670	9,872
長期借入金の返済による支出	△4,766	△4,882
自己株式の取得による支出	△11,905	△3,663
配当金の支払額	△5,129	△8,917
非支配株主への配当金の支払額	△626	△701
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,290	△13,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	439	△69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,286	19,958
現金及び現金同等物の期首残高	129,582	145,939
現金及び現金同等物の中間期末残高	133,868	165,897

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,326,200株の取得を行っております。この結果等により、当中間連結会計期間において、自己株式が3,663百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が55,516百万円となっております。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前中間連結会計期間 (自 2024 年 1 月 1 日 至 2024 年 6 月 30 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	59,849	—	—	59,849	—	59,849
菓子パン	234,377	—	—	234,377	—	234,377
和菓子	36,886	—	—	36,886	—	36,886
洋菓子	77,915	—	—	77,915	—	77,915
調理パン・米飯類	76,903	—	—	76,903	—	76,903
製菓・米菓・その他商品類	88,575	—	—	88,575	—	88,575
その他	—	36,099	7,036	43,135	—	43,135
顧客との契約から生じる収益	574,507	36,099	7,036	617,643	—	617,643
その他の収益	—	—	103	103	—	103
外部顧客への売上高	574,507	36,099	7,140	617,747	—	617,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,841	4,852	20,546	32,240	△32,240	—
計	581,349	40,951	27,686	649,987	△32,240	617,747
セグメント利益又は損失 (△)	29,915	△ 553	1,399	30,761	267	31,029

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 267 百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自 2025 年 1 月 1 日 至 2025 年 6 月 30 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	62,345	—	—	62,345	—	62,345
菓子パン	243,606	—	—	243,606	—	243,606
和菓子	39,217	—	—	39,217	—	39,217
洋菓子	81,639	—	—	81,639	—	81,639
調理パン・米飯類	84,468	—	—	84,468	—	84,468
製菓・米菓・その他商品類	93,243	—	—	93,243	—	93,243
その他	—	38,951	7,057	46,008	—	46,008
顧客との契約から生じる収益	604,520	38,951	7,057	650,529	—	650,529
その他の収益	—	—	103	103	—	103
外部顧客への売上高	604,520	38,951	7,160	650,633	—	650,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,598	4,783	24,199	36,582	△36,582	—
計	612,119	43,735	31,360	687,215	△36,582	650,633
セグメント利益又は損失 (△)	33,069	△ 243	1,630	34,455	235	34,690

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 235 百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1)連結販売実績

(単位:百万円)

セグメント名称	区 分	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	59,849	9.7%	62,345	9.6%	2,495	104.2%
	菓 子 パ ン	234,377	37.9	243,606	37.5	9,229	103.9
	和 菓 子	36,886	6.0	39,217	6.0	2,330	106.3
	洋 菓 子	77,915	12.6	81,639	12.5	3,724	104.8
	調理パン・米飯類	76,903	12.5	84,468	13.0	7,564	109.8
	製菓・米菓・その他商品類	88,575	14.3	93,243	14.3	4,667	105.3
	食 品 事 業 計	574,507	93.0	604,520	92.9	30,013	105.2
流 通 事 業		36,099	5.8	38,951	6.0	2,852	107.9
そ の 他 事 業		7,140	1.2	7,160	1.1	20	100.3
合 計		617,747	100.0	650,633	100.0	32,885	105.3

(2)主要子会社実績

(単位:百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前 中 間 期	当 中 間 期	増 減 額	増 減 率	前 中 間 期	当 中 間 期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家〈連結〉	53,181	56,686	3,505	6.6%	1,088	1,202	114	10.5%
(株)サンデリカ	51,602	57,359	5,756	11.2	1,296	2,000	704	54.3
(株)VKベーキングカンパニー	16,497	19,737	3,240	19.6	50	459	409	815.3
ヤマザキビスケット(株)	17,117	18,187	1,070	6.3	1,624	1,890	265	16.3
(株)東ハト	14,642	15,414	772	5.3	1,024	1,126	101	10.0
(株)ヴィ・ド・フランス	14,674	14,727	52	0.4	594	779	184	31.0

(3)2025 年 12 月期第2 四半期 (中間期) の単体業績 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

①単体経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		中 間 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025 年 12 月期中間期	448,411	4.1	22,777	4.2	24,674	△ 3.2	17,380	△ 1.2
2024 年 12 月期中間期	430,652	5.6	21,854	30.3	25,492	29.8	17,599	36.5

②単体財政状態

	総 資 産	純 資 産
	百万円	百万円
2025 年 12 月期中間期	575,081	325,297
2024 年 12 月期	587,223	321,172

(注) 単体業績数値は、財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4) 単体販売実績

(単位: 百万円)

期 別 品 種 別	前 中 間 会 計 期 間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)		当 中 間 会 計 期 間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)		比 較 増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食 パ ン	55,365	12.9%	57,267	12.8%	1,901	103.4%
菓 子 パ ン	199,186	46.2	204,889	45.7	5,703	102.9
和 菓 子	36,202	8.4	38,519	8.6	2,317	106.4
洋 菓 子	58,488	13.6	61,378	13.7	2,889	104.9
調理パン・米飯類	27,954	6.5	30,333	6.7	2,378	108.5
製菓・米菓・その他商品類	25,062	5.8	25,521	5.7	459	101.8
小 計	402,259	93.4	417,909	93.2	15,649	103.9
デイリーヤマザキ事業	38,110	8.9	40,903	9.1	2,793	107.3
内 部 消 去	△ 9,717	△ 2.3	△ 10,401	△ 2.3	△ 684	—
合 計	430,652	100.0	448,411	100.0	17,759	104.1